

平成29年12月 6日  
更新 平成29年12月20日  
更新 平成30年 1月 9日  
更新 平成30年 1月19日  
経済産業省製造産業局自動車課  
国土交通省自動車局技術政策課  
事務局 株式会社テクノバ

## 第4回 ラストマイル自動走行等社会実装連携会議

### 開催の御案内

第4回連携会議について以下の内容を準備しておりますので、ご参加を希望される方は下記の連絡先までご登録をお願いいたします。

日 時： 平成30年2月2日（金） 13：30－17：20  
（※講演内容のボリュームによっては、開始時刻・終了時刻を変更させていただく場合がございます。）

場 所： ビジョンセンター東京：別館 6F Vision Hall  
東京都中央区八重洲 2-7-12 「ヒューリック京橋ビル」6階  
ビジョンセンター東京

<https://www.visioncenter.jp/tokyo/access/>

※「ケイアイ興産東京ビル」ではありませんのでご注意ください。

1. 開会
2. 開会の挨拶
3. 議事

#### (1) 連携会議参加者の取組の紹介

- 株式会社苫東  
積雪寒冷地における自動運転実証試験場の誘致に向けて  
～北海道・苫小牧市の工業団地“苫東地域”内の実証フィールドと  
実例のご紹介～
- 東京都  
平成30年度 東京都の自動走行に関する取組について（仮）
- 愛知県  
愛知県における自動運転関連の施策について
- アイサンテクノロジー株式会社  
アイサンテクノロジーの自動運転への取り組み

- 滋賀県  
滋賀県の地域モビリティの課題と自動運転による課題解決に向けて  
(仮)
- 公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構  
けいはんな学研都市における K-PEP を活用した自動運転等公道走行  
実証実験の概要
- 京阪バス株式会社  
運輸事業者が考える自動運転への期待と課題
- 株式会社日本総合研究所  
神戸市のニュータウンにおける実証実験について
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
損保ジャパン日本興亜グループが提供する自動走行に係るサービス  
について  
※ 発表の順番は変更になる場合がございます。また、講演は追加・変更にな  
る場合がございます。

(2) その他

- ・政府の取組などの紹介  
ラストマイル自動走行（端末交通システム）について  
トラックの隊列走行について  
他

4. 閉会の挨拶

5. 閉会

※会議終了後、名刺交換や情報交換等にお使いいただける時間を設けます。

参加要件 自動走行を活用した新たな地域の端末交通システム等の構築に向けた、参加者  
(参加自治体や参加企業) の取組について、事業の成立性に対する考え方も含  
めて他の参加者に公表することを要件といたします。

参加者の取組を一覧に取りまとめて、参加者間で共有しております。

※ 参加に要する交通費等につきましては、各自でのご負担をお願いいたします。

(参加者の取組一覧イメージ)

参加団体・企業名	取組内容	担当者所属・氏名 (任意)
経済産業省	端末交通システムの実現に向けた実証事業を国土交通省と連携し、2016-2018年度の計画で実施。	製造産業局自動車課 ●●
株式会社●●バス	自動走行車両による旅客サービスの導入可能性について検討を開始したい。例えば、自社路線の●●-●●間を	●● ●●

	想定しているが、可能性のある路線や運行形態を検討中。	
●●株式会社	自動走行技術を搭載した車両による移動サービス提供に向けて、車両システムの開発を推進。2018年には公道実証を実現したい。	●● ●●
●●県●●市	自動走行車両による地域公共交通の導入可能性について、郊外の●●地区を想定した検討を開始。	●● ●●

[参加登録先：事務局]

株式会社テクノバ 先進モビリティグループ（担当：大久保 藤本 米谷）

東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー13階

電話：03-3508-2280

e-mail：[technova-sympo@technova.co.jp](mailto:technova-sympo@technova.co.jp)

[第4回出席登録締切日] 平成30年1月19日（金）

[登録方法]

新たに参加を希望される場合には、上記連絡先に取組イメージを参考に取組内容を記載の上、お送り下さい。

既に取組イメージを提出して参加登録をされている場合には、第4回連携会議への出席登録をお願いいたします。

第3回連携会議で共有した取組イメージから変更がある場合には、更新情報をお送り下さい。

参加要件を満たし、会議への出席意思があるにも関わらず当日の出席が不可能な場合は、登録の上、資料を送付することも可能ですので、事務局に御相談ください。

※ラストマイル自動走行等社会実装連携会議は、「平成29年度 高度な自動走行の社会実装に向けた研究開発・実証（旧 スマートモビリティシステム研究開発・実証事業）：自動走行の民事上の責任及び社会受容性に関する研究」事業の一環として、株式会社テクノバが運営を担当いたします。

[参考] ラストマイル自動走行等社会実装連携会議の目的（第1回開催案内より）

幅広い地域での自動走行の実装に向けた取組や検討を活性化していくため、自動走行を活用した新たな地域の端末交通システム等の実現に関心のある者が集い、情報交換やプロジェクトのマッチングを行う「ラストマイル自動走行等社会実装連携会議」（以下「連携会議」）を開催いたします。

連携会議では、自動走行の実現に向けて国が取り組んでいる政策を御紹介するなどの情報提供を行う他、参加者が取り組んでいるプロジェクトや抱えている課題について御紹介いただき、意見や情報を交換することで取組の推進や検討に活かしていただくこと

を想定しております。また、異なる立場の参加者が一堂に集まることから、例えば自治体と事業者や異業種の事業者同士のマッチングの場としても活用いただけるものと考えております。